

2023年1月17日

報道関係社各位

慶應義塾大学

エシカルな畜産を通じ持続可能な地域発展を目指す  
 「南阿蘇村 草原再生・あか牛復興プロジェクト」が発足  
 ～本プロジェクトの趣旨に賛同した出光興産株式会社が企業版ふるさと納税を実施～

熊本県南阿蘇村（村長：吉良清一 以下、南阿蘇村）と慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科（横浜市港北区、研究科委員長：稲蔭正彦 以下、KMD）、熊本県畜産農業協同組合連合会（代表理事長：荒牧弘幸 以下、熊本県畜連）は昨年7月に締結した相互連携協定に基づき、6団体（南阿蘇村商工会（以下、商工会）、一般社団法人みなみあそ観光局（以下、観光局）、東海大学九州キャンパス、くまもと阿蘇県民牧場株式会社（以下、県民牧場）、株式会社肥後銀行、株式会社グローバル・クラウドファンディング（以下、GCF））との連携に拡大し、エシカル消費に対応した「くまもとあか牛」の生産と草原環境維持、視察・体験型観光を目的とした「エシカルな畜産業」による地域活性を目指すプロジェクトを組成いたしました。

この度、本プロジェクトへの賛同企業でもある出光興産株式会社（代表取締役社長：木藤俊一）より、今後のプロジェクト推進支援を目的とし、南阿蘇村への企業版ふるさと納税が実施されました。また、出光興産株式会社のグループ企業である株式会社エス・ディー・エス バイオテック（代表取締役社長：阿部徹 以下、エス・ディー・エス バイオテック）からは牛由来メタンガス削減に向けた研究開発について支援いただくことが決定しました。



出光興産への感謝状贈呈



南阿蘇みらいプロジェクト参画企業



環境に配慮したあか牛の生産を開始

■ 「エシカル（社会、人、地球にやさしい）」をテーマにした今後の具体的な取り組みについて

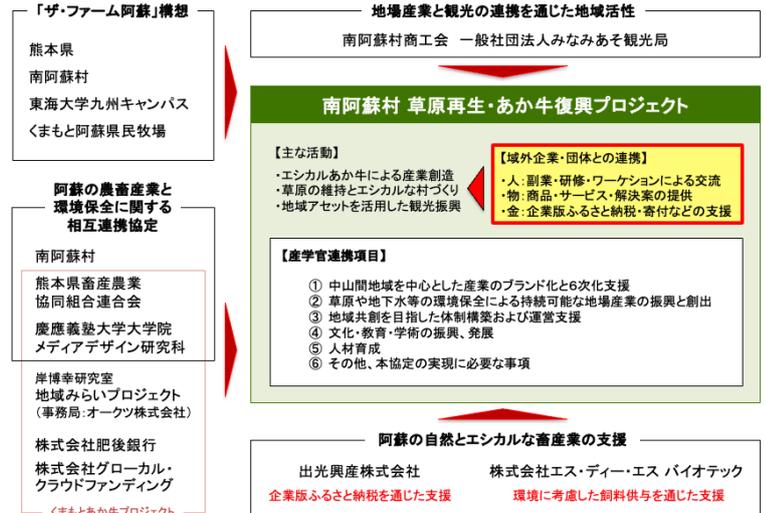
連携協定締結時に掲げた3つの目標「農畜産業」「環境対応」「観光産業」に応じた取り組みを推進します。

1. **農畜産業：消費者や企業が直接支援できる畜産体制の構築**  
 肥後銀行・グローバルクラウドファンディングと連携し、クラウドファンディングを通じた企業・消費者によるエシカルな畜産の持続可能な支援体制の構築
2. **環境対応：草原維持と環境負荷低減に向けた研究支援**  
 東海大学九州キャンパス・くまもと阿蘇県民牧場・出光興産・SDS バイオテックと連携したあか牛のゲップ起因によるメタンガス削減研究（SDS バイオテックの飼料「ルミナップ」の効果検証）
3. **観光産業：視察・研修を通じた平日観光需要の創出**  
 一般社団法人みなみあそ観光局・南阿蘇村商工会と連携した南阿蘇における地産地消・エシカルライフの体験型観光化、自然環境や農畜産業の新たな取り組みに関係する方々に向けた、二拠点ワークやコワーキングの拠点整備

## ■ 協定に基づき産官学で進める本事業の意義について

公助だけでなく民も含めた共助の精神で地域課題の解決を目指す本事業は、企業版ふるさと納税やクラウドファンディングを活用した消費者や企業の支援を通じて、その過程を共有し社会に貢献することを目的としています。

また、少子高齢化が進み日本の未来を体現しているとも言える村を舞台に、大企業やベンチャーがエシカルなサービスや商品を開発する体制を作ることで、他の地域には無い新たな産業と魅力の創出に貢献していく予定です。



## ■ エシカル消費に対応した「環境に優しいあか牛」の生産および販売について

近年、生活スタイルの多様化が進む中で、食に対しても環境負荷が少なく、健康に良い肉を求めるニーズが広がっています。今回、赤身が多く栄養分が豊富なあか牛を、牛由来メタンガス発生を約36%(\*1)抑制することが見込まれるエス・ディー・エス バイオテック社より試供される飼料「ルミナツプ」にて肥育することで、環境に優しい和牛の生産に着手します。\*1 人エルーメン試験におけるカシューナッツ殻液添加濃度 50ppm での抑制効果 (Watanabe et al. 2010)

また、新たな販路の創出に向けて、肥後銀行および GCF と連携し、エシカルな取り組みにチャレンジする生産者を応援可能な金融型のクラウドファンディングも同時に開始いたします。これにより企業や消費者が生産の段階から産地を応援し、あか牛を購入する事が可能になります。



まもなく募集開始  
詳細はQRコードへ

**GLOCAL CROWD FUNDING**

**【募集予定】エシカルくまもとあか牛ファンド**

※ファンド条件などの詳細は開始時(2023年1月末を予定)に開示  
<https://www.glocal-cf.com/news/activity?a=96>

## ■ (ご参考) これまでの活動について：くまもとあか牛プロジェクト (2018年～)

2018年より、KMDでは熊本県下のあか牛生産農家数が減少している現状をふまえて、都市部での販路開拓支援や歩留まり改善に向けた技術導入支援、および新しい事業モデルの検証支援を実施してきました。2019年11月29日(いい肉の日)に産官学金連携協定を締結し、畜産業と地域活性化に向けた域内外との連携事業と活動を続けています。また、2022年7月12日には南阿蘇村との産官学連携協定を締結し地域活性化事業に取り組んでいます。



(写真) 2019年11月29日に熊本県を立会人として、KMD(岸博幸研究室)と熊本県畜連、株式会社肥後銀行は産官学金の連携協定を締結



(写真) 2022年7月12日に南阿蘇村、KMD、熊本県畜産農業協同組合連合会との連携協定を締結

※ なお、今後も引き続きご支援いただける企業団体を募集し、南阿蘇村住民・企業との持続可能な発展を目指します。

### ■ 熊本県南阿蘇村

村長 : 吉良 清一  
住所 : 熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字河陽 1705 番地 1  
URL : <https://www.vill.minamiaso.lg.jp/>

### ■ 熊本県畜産農業協同組合連合会

代表理事長 : 荒牧 弘幸  
住所 : 熊本県熊本市東区桜木 6 丁目 3 番 54 号  
URL : <https://akaushi.jp/>

### ■ 出光興産株式会社

代表取締役社長 : 木藤 俊一  
住所 : 東京都千代田区大手町一丁目 2 番 1 号  
URL : <https://www.idemitsu.com/jp/>

### ■ 株式会社エス・ディー・エス バイオテック

代表取締役社長 : 阿部 徹  
住所 : 東京都千代田区神田練堀町 3 番地 AKS ビル  
URL : <https://www.sdsbio.co.jp/>

### ■ 南阿蘇村商工会

代表理事長 : 丸野 健一郎  
住所 : 熊本県阿蘇郡南阿蘇村吉田 1488-1  
URL : <https://r.goope.jp/m-aso-shokokai/>

### ■ 一般社団法人みなみあそ観光局

代表理事長 : 丸野 健一郎  
住所 : 熊本県阿蘇郡南阿蘇村久石 2807  
URL : <https://minamiaso.info/>

## ■ 東海大学九州キャンパス

---

九州キャンパス長 : 木之内 均

住所 : 熊本県熊本市東区渡鹿 9-1-1

URL : <https://www.kumamoto.u-tokai.ac.jp/>

## ■ くまもと阿蘇県民牧場株式会社

---

代表取締役社長 : 石原 靖也

住所 : 熊本県阿蘇郡南阿蘇村立野 203-1

URL : <https://www.asokenminfarm.com/>

## ■ 株式会社肥後銀行

---

代表取締役頭取 : 笠原 慶久

住所 : 熊本市中央区練兵町 1 番地

URL : <https://www.higobank.co.jp/>

## ■ 株式会社グローバル・クラウドファンディング

---

代表取締役 : 荒川 浩二

住所 : 熊本県熊本市中央区下通一丁目 9 番 9 号

URL : <https://www.glocal-cf.com/>

## ■ 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科

---

メディアデザイン研究科 (KMD) は、イノベーションを自ら生み出し社会に向けて価値を創出する能力を持つ「メディア・イノベータ」の育成をミッションとしています。メディア・イノベータは分野や国境の枠を超えてグローバルに活動し、ポストパンデミックにおける創造社会を先導していきます。

研究科委員長 : 稲蔭 正彦 教授

住所 : 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1

URL : <https://www.kmd.keio.ac.jp/>

## □ 地域みらいプロジェクト

「持続可能な地域活性」の実現をミッションとし、専門家視点ではなく地域の実行者目線で最新技術や社会情勢を踏まえた解決案を実情に合わせて企画・実行します。自治体や地場産業、地域住民の方と一緒に活動しながら産官学のオープンイノベーション体制を構築し、農林水産や地場産業の活性化プロジェクトを実行しています。

担当教官 : 岸 博幸 教授

プロジェクトリーダー : 大江 貴志 研究員

事務局 : オークツ株式会社 (大学発ソーシャルベンチャー)

URL : <https://chiki-mirai.localinfo.jp/>

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部等に送信しております。

---

### 【本調査内容に関するお問い合わせ先】

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 研究員 岸浪 聖

Email : [sei.kishinami@kmd.keio.ac.jp](mailto:sei.kishinami@kmd.keio.ac.jp)

### 【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾広報室 (澤野)

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

Email : m-pr@adst.keio.ac.jp URL : <https://www.keio.ac.jp/>